

企画総務委員会 送付31-4

千代田区都市計画マスタープラン改定を
住民参加型で進めることを求める陳情

受付年月日 令和元年6月19日

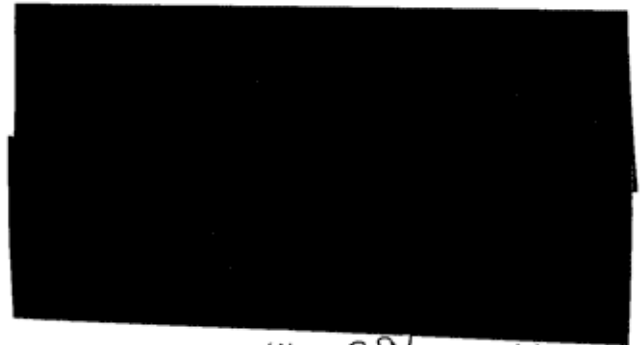
陳情者 共同代表 6名
署名者 386名
6/27 追加署名 84名
計 476名

令和元年6月19日

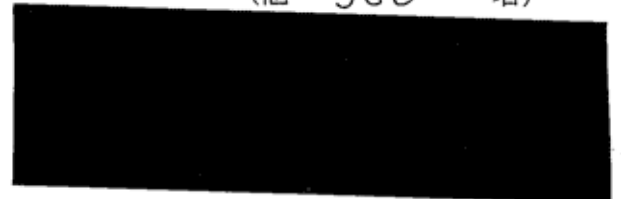
陳 情 書

千代田区議会議長

小林 たかや 殿



(他 386 名)



件名 千代田区都市計画マスタープラン改定を住民参加型で進めることを求める陳情

【理由】

現在千代田区では平成13年に策定した『都市計画マスタープラン』の改定に向けて、都市計画審議会において審議が行われております。本年3月の都市計画審議会では、7月に開催予定の都市計画審議会後にパブリックコメントを募集する予定と説明がありました。

【都市計画マスタープラン改定は住民参加を基本としてください】

千代田区都市計画マスタープランは、まちの在り方を決める基本となるもので、千代田区のみならず、まちづくりにとって最も大切なものです。その中には『まちづくりは構想・計画段階から区民参加が不可欠であり、区民主体型のまちづくりを進めるため、地区レベルでの自主的まちづくり活動を行う組織や組織づくりを支援していきます。』と記されております。しかしながら、現在素案の策定には、区民参加の場が与えられておらず、区民の意見が反映されているとは言えません。

私共「番町の町並みを守る会」は、番町のまちづくりを考えるために設立した会です。番町の町に超高層ビルはふさわしくありません。現行の都市計画マスタープランにあるように番町の町では『中層・中高層の住居系の複合市街地として、落ち着いたたたずまいを活かし、住宅を中心として教育施設、商業・業務施設が調和・共存したまちとして、緑に包まれた心やすらぐ住環境、美しい街並みを今後も維持』することを目指しており、多くの住民がその将来像の維持を望んでいます。（「中層・中高層のまちづくり」とは、高さ60mを上回る超高層建築物を許容しないまちづくりを指します。）

パブリックコメント募集は、双方向の住民参加型で素案を策定したのちに実施してください。

【住民主体のまちづくり協議会開催を要望します】

これまで「番町の町並みを守る会」では日本テレビ通り沿道まちづくり協議会に参加し、住民としての意見を述べて参りましたが、現在日本テレビ通り沿道まちづくり協議会は中断している状況です。都市計画マスタープランに記載されている『区民主体型のまちづくりを進め、地区レベルでの自主的まちづくり活動を行う』ために、都市計画マスタープランの素案づくりを議論できる住民主体のまちづくり協議会の設置を要望します。

